

厚生委員会決算 議案に関する委 員長報告

九月定例会において、当委員会付託の平成十八年度決算議案四件を審査した。

まず、「津山市一般会計歳入歳出決算」は、一部委員からごみ処理施設建設予定地の公募要件があまりなかったために、現時点で混乱を来しており、その選定手法に反対との意見、また後期高齢者医療制度は七五歳以上の高齢者に新たな保険料を課すものであり反対との意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で認定とした。

次に、「津山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算」は、一部委員から滞納者の家庭の事情等を十分考慮した上で、何らかの救済策を講じてもらいたい、またそれに関連して繰出金が少な過ぎるとの反対意見が出されたが、採決の結果、

果、賛成多数で認定とした。

次に、「津山市老人保健特別会計歳入歳出決算」は、一部委員から高齢者に負担増を強いるものであり反対との意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で認定とした。

次に、「津山市介護保険特別会計歳入歳出決算」は、一部委員から国保特別会計歳入歳出決算と同様の理由により反対との意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で認定とした。

厚生委員会

市の福祉健康部(福祉、健康、医療)、環境生活部(生活、環境、ごみ)、まちづくりプロジェクト推進室のごみ処理センター建設事業に関する事項に対応する委員会です。

◎松本義隆 ○野村昌平 秋久憲司 川端恵美子
木下健二 末永弘之 森下寛明 吉田耕造



マイバッグ(買い物袋)

十二月定例会において、当委員会付託の議案九件、請願一件を審査した。

まず、「津山市一般会計補正予算(第三次)」は、マイバック持参運動推進事業委託料について種々質疑がなされ、行政として当面は、レジ袋の有料化の推進は行わず、あくまでマイバックの持参率の向上に重点を置き、今後取り組んでいきたいとの答弁を受け、審査の結果、全員一致で可決した。

次に、「津山市一般会計補正予算(第四次)」、「津山市国民健康保険特別会計補正予算(第二次)」、「津山市老人保健特別会計補正予算(第二次)」、「津山市介護保険特別会計補正予算(第二次)」、「第三次」は、審査の結果、全員一致で可決した。

次に、「津山市後期高齢者医療に関する条例」は、一部委員から当面は、被用者保険の被扶養者に対しては激変緩和措置が講じられるが、高齢者に対して新たな保険料を課すものであり反対との意見が出されたが、採決の結果、賛成多数で可決した。

次に、請願「安全な医療と看護・介護の実現、地域医療拡充をはかるため医師・看護師等の大幅な増員を求める請願書」は、審査の結果、全員一致で採択とした。

◎ 政治家に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁じられています。